

「福井新元気宣言」推進に関する政策合意

私は、知事の政策スタッフとして、「福井新元気宣言」に掲げられた「元気な社会」、「元気な産業」、「元気な県土」、「元気な県政」の4つのビジョンを着実に実現していくため、県民の理解と参加を得ながら、責任を持って職務を遂行し、次に掲げる施策・事業について重点的に実施することを西川一誠知事と合意します。

平成20年4月

福井県知事 西川 一 誠

企業局長 筑後 康 雄

I 「新元気宣言」を推進するための20年度の基本方針

- ・ テクノポート福井については、進出企業の本社訪問等により工場用地の仲介、調整活動を進め、未操業企業や遊休地の解消を図ります。
- ・ 公営電気事業については、民間による発電が大部分を占めている中で、その役割の変化なども踏まえ、民間への売却に向けて具体的な作業を進めます。
- ・ 坂井地区水道用水供給事業については、経営の一層の効率化を図り、安心して安価な水道水の給水を目指し、将来の事業のあり方について引き続き検討を進めます。

Ⅱ 20年度の施策

1 地域を支え世界に広がる福井の産業

◇ テクノポート福井の活性化

- ・ テクノポート福井における未操業企業や遊休地の解消を図るため、進出企業の本社訪問や工場の増設意向調査等により、新たな設備投資の要請や未操業企業に対する用地の転売等の仲介、調整活動を進めます。

未操業企業の解消（平成19年度 2社減）	1社減（8社 → 7社）
新規立地および工場の増設（平成19年度 13社）	10社
新規雇用者数（平成19年度 171人）	100人

2 行財政構造改革

◇ 電気事業の民間への売却

- ・ 公営電気事業については、売却候補先を選定し、売却資産、時期および価格等の協議を行います。

◇ 水道事業の経営効率化に向けた検討

- ・ 坂井地区水道用水供給事業については、将来の事業のあり方について、引き続き地元2市および厚生労働省等の関係機関と協議を実施します。

○ 4年間の目標数値

今後4年間の施策を通じて次の目標の実現を目指します。

指標名	18年度の現状	19年度の現状	22年度末までの目標
テクノポート福井における新規立地および工場の増設	17社/年	13社/年	4年間で40社
テクノポート福井における新規雇用者数	125人/年	171人/年	4年間で400人